記入年月日 平成28年度 事務事業評価表 A ( 平成27年度 の実績評価) 平成 月 事業区分 事務事業名 がん検診事業 020102000334 新規/継続 継続 事務事業No. 040401 政策体系上の位置付け 単独/補助 補肋 所属課 総合計画の施策名 0201 健康づくりの推進 主要事業 机象位 健康推進課 政策名 02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり 対象外 01 健康づくりの推進 対象外 健康づくり 施策名 グループ 系 02 健康診査等の充実 合併建設計画事業 基本事業名 対象外 財務会計上の位置付け 事業期間 会計 款 項 事業 細 一般会計 単年度繰返し ( 昭和58 年度~) 予算科目 01 04 01 02 02 00 保健事業 □⇒ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 事務事業の現状把握(その1) (Do) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 市民の健康増進を図ることを目的として、市内在住の40歳以上の方を対象に、 検診日程、会場の調整、医療機関検診の予約と医療機関への連絡 ・検診高程・公園の過程、公園は関係ののプロフェースでは、対 ・検診希望者の抽出、受診票の発送(がん検診推進事業においては、対 象年齢の方全員にクーポン券を発送) 胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、前立腺がん検診をミニドック または住民健診の名称で集団検診を実施。

乳がん検診(マンモグラフィ、超音波検査)、子宮がん検診(頸部細胞診)は集団検診と医療機関検診を実施。集団検診、医療機関。 集団検診当日に、 個人負担金を徴収。

すべての集団検診は(公財)茨城県総合健診協会に、医療機関検診は県西総 合病院に委託している。検診結果は、各機関より検診日から約1か月後に郵送で 送られてくるので、要精密者とその他の方に分けて結果を発送する。 また、要精密者については一覧名簿が健診協会より送られてくるので、

• 合併建設計画事業

- 承午節の打主員にクーバンダゼ九込が・検診会場準備、当日の受付、個人負担金(胃がん:1000円、大腸がん:500円、肺がん・結核:無料、前立腺:500円、子宮:500円、乳(マンモグラフィ1方向・超音波):500円、乳(マンモグラフィ2方向):1000円)の徴収、検体回収日の実施
- 検診結果の発送
- ・要精密者への医療機関受診勧奨

また、要精密者については一覧名簿が健診協会より送られてくるので、医療 機関未受診者については受診勧奨を行う。 ・実績報告															
(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移															
1	)手戶	党 (‡	旦当者の活動内容)		④活動指標	(活動量を	表す指標)		単位	26年月 (実績)		27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
・検診日程、会場の調整、検診希望者の抽				検診日、検体回	検診日、検体回収日数			В	67.	.00	125.00	125.00	125.00	125.00	
・会場準備、当日の受付、個人負担金の徴 -						受診票発送数			通	14,725	.00 1	2,000.00	12,000.00	12,000.00	12,000.00
					要精密者への	要精密者への受診勧奨数				145.	.00	82.00	90.00	90.00	90.00
受診勧奨・実績報告									О.	.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)				⑤対象指標	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	26年月(実績)		27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	
胃がん、大腸がん、結核・肺がん検診は40				0 40歳以上の	40歳以上の人口			人	28,090	.00 2	28,040.00	27,945.00	27,000.00	27,000.00	
前	歳以上 前立腺がん検診は50歳以上の男性 乳がん検診は30歳以上女性、子宮がん検診 は20歳以上の女性					30歳以上の女性人口			人	17,060	.00 1	16,957.00	16,824.00	16,800,00	16,800,00
						20歳以上の女性人口			人	19,140.	.00 1		16,907.00	16,900.00	16,900.00
3	③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)				⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成 を表す指標)		成度	単位	26年月 (実績)		27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
<b>4</b>	$\triangle \Phi$				受診者数(延ん	受診者数(延べ)			人	17,281.	.00 1	17,051.00	17,000.00	17,000.00	17,000.00
め.	自分の健康は自分で守るという意識を高 ――め、がん予防に関する知識の普及および、 嬰早期発見・早期治療につなげる。 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――			要精密者数	要精密者数			人	772.	.00	788.00	790.00	790.00	790.00	
-	千朔九兄·千朔/7禄に ノなける。				要精密医療機関	要精密医療機関受診者数			人	517.	.00	528.00	530.00	530.00	530.00
					7年度 実績)		28年度 (計画)				30年度 (目標)		間限定 総投入量		
			国庫支出金	千円	2,265	5	661			106		110		110	0
		財源内訳	県支出金	千円		)	0			0		0		0	0
投	事		地方債 千円 使用料・手数料 千円			0 0 0				0		0	0		0
	業														0
_	費		その他	千円	6,839	· ·				7,184	7,184		,184	0	
入		-		一般財源 千円		41,830 33,160 50,934 41,080				3,470		525,206			0
		事業費計(A)		千円						5,760		532,500		3,255	0
量	人件	正規職員従事人数 人 述べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円					5,00人 1 2,385,00		16.00人 2,400.00		16.00人 2,400.00		16.00人 2,400.00		
里	費					2,856.00				5,962	- 4	6,962			
					8,285 6,919 59,219 47,999						539,462		0,902		
	ドーダルコスド(A) + (B)   + F1   27年度事業費 実										予算(千円)				
	11 需用費 8			大順(III)				11 需用費			8	・ア社(ココ)	'		
	12 役務費 349							12 役務費			401				
事		委託		40,723				13 \$				45,351			
業				,					J 安山村 -			. 0,00			
費															
の															
	内 =n														
訳															
					合 計		41,080							45,760	
(	4) 当該年度の実施内容 28年度の事業内容				2	29年度の事業内容				30年度の事業内容					
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する															
・主要事業   ・市長マニフェスト															
•	未来	PJ	事業												

		検診事業	事務事業No.	20102000334	所属課	健康推進課						
	o】 1. 事務事業の現状		されたのかり 関心は期末ス	ハけ5年前と比べてどる	亦わったのか2							
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? がんを早期に発見し治療することにより、がんによる死亡者の減少および医療費を削減すること。乳・子宮がん検診においては、がん発症の多い年齢の女性に対して無料クーポン券を発行し、受診につなげる「女性特有のがん検診推進事業」が平成21年度に開始。平成23年度からは「働く世代への大腸がん検診推進事業」が新規で加わる。												
	八0歳ん / いス02)ほどず未」 ル 村(が、											
(6	(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?											
	該当年齢以外の方から受診の要望がある。 医療機関で受診したいという要望がある。											
(7	7) 並同の声数声器証価に	サオスルギ、小羊の見ばか中央										
(1	/ 則凹の事務事業評価に	対する改革・改善の具体的内容										
	ee】 2. 評価の部		平 価 項 目									
	①政策体系との整合性 (	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつ 総合計画で掲げる「健康づくりの推議			*************************************	ス体制なつどの一致						
目的巫	結びついている	備につとめている。				の仲間でライジ、正						
妥当性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 健康増進法・感染症法に基づいて実施している。がん予防に関する知識の普及および疾病の早期発見により、医療費の軽減を											
14	妥当である	図る。	他のでいる。カカリア町に関す	る 心臓の自及のより疾病	307年朔光兄によ	り、区原貝の料点で						
(	③ 成果の向上余地 (成果	を向上させる余地はあるか?成果の現状水準受診者数やクーポン券の利用率が減少				•						
	向上余地がある	用)、検診日程の検討(もれ者健診な										
有一	4廃止・休止の成果への影	響(事務事業を廃止・休止した場合の影響がある。		また は坊の日期登目	3. 公康が湿わる	ニトに トル 田田へ						
効性	影響有 がん発見が遅れることで、医療費が高額となることが考えられる。また、結核の早期発見・治療が遅れることにより、周囲への感染拡大の可能性がある。											
(	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 〇 具体的な手段、事務事業名											
	余地がない   同日にいくつかの検診を併せて実施しており、これ以上の統合はできない。											
郊日	⑥事業費・人件費の削除余	地(成果を下げずに事業費を削除できた	ないか?やり方を工夫して延	べ業務事業を削減できた	ないか?)							
率性	削減余地がない	医療機関での健診もあるが、1人あたない。		2 0.000 - 0.00		ており、削減余地は						
公平性		適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に 健康カレンダー、広報、HP、他の事	 業(市民健康講座や乳幼児修	建診など)を通じて周知	。申し込みも随門	 寺。検診対象者には						
	公正・公平である	個別通知をしている。受診者の利便性 括と今後の方向性(次年度計画と予算へ		診可能としているので、	公平である。							
(1		評価結果	への反映) (2) 全体総括(振り返り 受診者数、無料クーポン券の		つ 平沙老物の様	ahn 太 岡 フ 田 / / 40 1, 太						
2	自的妥当性 ■ 適切 有効性 □ 適切	] □ 見直し余地あり <del>   </del>	検討していく必要がある。今 こ対して、コールリコール(	年度は、過去の乳がん。 未受診者への再勧奨)を	・子宮頸がん検診	無料クーポン対象者						
	<ul><li>効率性 ■ 適切</li><li>公平性 ■ 適切</li></ul>		談に併せて、がん検診の申し	必めを安け付けた。								
(3)	今後の事業の方向性		(複数回答可)			改善による期待成果						
	□終了 ■継続 -	→ ■ 改革改善を行う→   □	「複数回音可) 目的の再設定 □ 有効性の改善 □		(終了・廃止・	・休止の場合は記入不要)						
	□ 廃止 □ 休止	→ □ 現状維持	統廃合ができる			削減 維持 増加						
, -	う) 改革,改善を実現する 診や無料クーポン券のPR	成 維	0									
• –	-定の年齢の方への検診通知 を診機会を拡充する。	果梅										
		(6)事務事業優先度評価結果										
		成果優先度評価結果 1 コスト削減優先度評価結果 9										
		革改善に向けての指摘事項										
〔1 誤	) 課長評価 長確認後の評価		(2) 部長確認及び評価	西 (課長評価により、	C、D判定及び確	認が必要な場合)						
	B A: 継続(現状約 B: 継続(改革改		確認欄									